

2020年9月通常会議 補正予算案に対する討論

2020年9月1日

林 まり

私は、日本共産党大津市議員団を代表して、議案 101 号令和 2 年度大津市一般会計補正予算（第 5 号）について、賛成の立場で討論いたします。

本補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策の小規模事業者応援給付金の申請期間の延長と、申請見込み件数の増加に伴い、経費を追加しようとするものです。給付金が届いた市内の事業者さんたちからは、喜びの声を聴く一方で、給付金事業の要件が、直近 1 カ月の事業収入と、直近 3 カ月の事業収入の両方が前年同月比で 30%以上減少していることなどの要件を満たさず、書類を返却された事業者が 205 件あることがわかりました。多くの自治体は、どちらかの事業収入で判断しており、どちらもという要件は厳しすぎるという多くの市民からのご意見を伺っています。

また、中小企業庁も個人事業主と認めている企業組合加盟の事業者が、本給付金事業では事業収入とは認めないために、対象から外されています。給与所得者であるものの実態は個人事業主であり、市としてその実態をしっかりと把握し、本事業の対象とするよう改善を強く求めます。

長引くコロナ禍の下で、市内事業者の経営状況は未だに改善されておらず、今後経営はますます深刻になることが予想されます。引き続き、丁寧な対応と必要な手立てを積極的に行うことを求めて、本補正予算に賛成いたします。